【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成25年8月8日(2013.8.8)

【公開番号】特開2012-130735(P2012-130735A)
【公開日】平成24年7月12日(2012.7.12)
【年通号数】公開・登録公報2012-027
【出願番号】特願2012-41102(P2012-41102)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｂ　17/00　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｂ　17/00　　３２０

【手続補正書】
【提出日】平成25年6月21日(2013.6.21)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
複数のワイヤを具備する拡張可能なフレームであって、各ワイヤが当該フレームの近位端から遠位端まで延びる、フレームと、
前記拡張可能なワイヤフレームを少なくとも部分的に被覆するシール部材とを具備し、
前記ワイヤは、近位側アイレット及び遠位側アイレット並びに当該シール器具が展開形態にあるときに近位側ディスク及び遠位側ディスクを形成し、これら近位側ディスク及び遠位側ディスクは近位側アイレットと遠位側アイレットとの間に配置され、前記複数のワイヤのそれぞれは前記近位側ディスクの各花弁部と前記遠位側ディスクの第二花弁部とを形成する、シール器具。
【請求項２】
当該シール器具は展開時において自己センタリング式である、請求項１に記載のシール器具。
【請求項３】
前記拡張可能なフレームは、複数のワイヤから形成され且つ前記近位側ディスクと前記遠位側ディスクとの間に配置された中央アイレットをさらに具備する、請求項１に記載のシール器具。
【請求項４】
前記シール部材は、前記近位側ディスク及び前記遠位側ディスク、並びに前記近位側アイレット、前記遠位側アイレット及び中央アイレットを被覆する、請求項３に記載のシール器具。
【請求項５】
前記拡張可能なワイヤフレームは少なくとも５つのワイヤを具備する、請求項１に記載のシール器具。
【請求項６】
前記シール部材はポリエステル、ポリエチレン、ポリプロピレン、フルオロポリマー、ポリウレタン、シリコーン、ナイロン及びシルクから成るグループから選択された材料を含む、請求項１に記載のシール器具。
【請求項７】
前記フルオロポリマーはポリテトラフルオロエチレンを含む、請求項６に記載のシール

器具。
【請求項８】
前記ポリテトラフルオロエチレンは延伸膨張ポリテトラフルオロエチレンを含む、請求項７に記載のシール器具。
【請求項９】
前記複数のワイヤはニチノールを含む、請求項１に記載のシール器具。
【請求項１０】
前記シール部材は、複数のワイヤに取り付けられる、請求項１に記載のシール器具。
【請求項１１】
前記複数のワイヤは前記近位端から前記遠位端まで螺旋状に延びる、請求項１に記載のシール器具。
【請求項１２】
前記アイレットの少なくとも一つは非円形状に形成される、請求項１に記載のシール器具。
【請求項１３】
前記シール部材は接着剤によって複数のワイヤに取り付けられる、請求項１０に記載のシール器具。
【請求項１４】
前記接着剤はＦＥＰを含む、請求項１３に記載のシール器具。
【請求項１５】
前記ニチノールは１０重量％の白金を含む、請求項９に記載のシール器具。
【請求項１６】
前記ニチノールはドローン・フィルド型のニチノールである、請求項１５に記載のシール器具。
【請求項１７】
前記第一花弁部の部分は前記近位側ディスクの外周を画成する、請求項１に記載のシール器具。
【請求項１８】
前記第二花弁部の部分は前記遠位側ディスクの外周を画成する、請求項１７に記載のシール器具。
【請求項１９】
前記中央アイレットは、ループ形態に巻回された複数のワイヤの各ワイヤの部分を具備する、請求項３に記載のシール器具。
【請求項２０】
前記近位側ディスクの隣り合った花弁部の部分は重なり合う、請求項１に記載のシール器具。
【請求項２１】
前記遠位側ディスクの隣り合った花弁部の部分は重なり合う、請求項２０に記載のシール器具。
【請求項２２】
前記遠位側アイレットの遠位側に配置された遠位側バンパをさらに具備する、請求項１又は１１に記載のシール器具。
【請求項２３】
器具ロックループをさらに具備する、請求項２２に記載のシール器具。